

科目名	販売ビジネス	学年	3年	使用教材	【教科書】ファッション販売、ファッションビジネス
		必修・選必・ コース選			【副教材】ファッション販売・ビジネス問題集
		単位数	2単位		

学習目標

ファッション販売の世界で活躍する際に必要な基本的な知識から、ファッション産業の企画、生産、流通の各分野で働く際に必要とする知識や技術を習得する。

学習方法

- 実践的な学習活動を通して、ファッション販売・ビジネスに関する分野を科学的・総合的にとらえていくことに努める。
- 実際の生活に生かせるよう、学んだことを自分自身の問題ととらえ、ファッション販売・ビジネスの知識・技術をより高める。
- 授業で活用する問題集や資料等を活用して、学習内容を確実に自分のものとし、深い理解をめざして取り組み、より高い段階（級）の資格取得を目指す。

学習評価

○次の4つ観点に基づき、学習内容のまとめりにごとに評価を行い、学年末に5段階の評定に総括します。

①関心・意欲・態度	ファッション販売・ビジネスの領域に感心をもち、将来ファッション関係の仕事に就くことを想定することで、学習に意欲的に取り組むとともに、実践的な態度を身につける。
②思考・判断	ファッション業界における日常的なマナー及び態度について主体的に思考し、ファッション感度の高い生活者（客）のニーズに適切に対応・判断し、創造・工夫する能力を身につける。
③技能・表現	自分らしいライフスタイルを持ち、ますます個性化する生活者（客）に適切に対応するための基本的な技術・技能・表現力を総合的に身につける。
④知識・理解	生活者（客）の満足を得ながら販売するための、ファッション販売・ビジネスに関する専門的な知識を持ち、さらに理解を深めていく態度を育てる。

○学習の過程で自己評価を実施しますので、自らの学習状況をチェックし、目標達成に努めましょう。

学期	学習内容	学習のねらい	学習活動【評価方法】
1 学期	<p><ファッション販売能力検定（3級）></p> <p>○A科目 [I]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファッション販売知識 ・ファッション・マーケティング知識 ・ファッション販売業務 <p>○B科目 [I]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファッション販売技術 ・店舗演出・VP展開 ・ファッション商品知識 	<p>○ファッション販売能力検定の主旨を理解し、資格取得に取り組む。</p>	<p>○テキスト（ファッション販売 [I]）を読み通しながら、問題集（ファッション販売能力検定試験問題集／3級）を解き、内容を確認し理解する。</p> <p>（学習状況観察）</p> <p>（検定取り組み状況）</p> <p>（定期考査）</p>
2 学期	<p><ファッションビジネス能力検定（3級）></p> <p>○ファッションビジネス知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファッション産業構造・マーケティング ・ファッション流通・販売 <p>○ファッション造形知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファッション文化・デザイン文化 ・ファッション商品知識 <p><ファッション販売能力検定（2級）></p> <p>○A科目 [II]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファッション販売知識 [II] ・ファッション・マーケティング知識 [II] ・ファッション販売業務 [II] <p>○B科目 [II]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファッション販売技術 [II] ・店舗演出・VP展開 [II] ・ファッション商品知識 [II] 	<p>○ファッションビジネス能力検定の主旨を理解し、資格取得に取り組む。</p> <p>○ファッション販売能力検定の主旨を理解し、資格取得に取り組む。</p>	<p>○問題集（ファッションビジネス能力検定試験／3級）を解き、内容を確認し理解する。</p> <p>○テキスト（ファッション販売 [II]）を読み通しながら、問題集（ファッション販売能力検定試験問題集／2級）を解き、内容を確認し理解する。</p> <p>（学習状況観察）</p> <p>（検定取り組み状況）</p> <p>（定期考査）</p>
3 学期	<p><デザインの目的と発想></p> <p>○デザインの目的と意義</p> <p>○デザインの目的と問題点</p> <p>○ファッションデザインの条件</p> <p>○目的と条件を満たしたファッションデザイン</p>	<p>○何のためにデザインするのかを明確にする。</p> <p>○生活環境を取り巻く環境と衣服について問題意識をもつ。</p> <p>○快適性・自己表現・強調と連帯感・衣服の管理と耐久性等を知る。</p> <p>○目的に合った衣服をイメージ・デザインし、提案する。</p>	<p>○デザインを総合的に捉える。</p> <p>○今ある衣服のあり方をもう一度見直して調べてみる。</p> <p>○繊維素材や衛生的機能、衣服構成などの基礎知識を振り返り、ファッションデザインのために必要な条件を考える。</p> <p>（学習状況観察）</p> <p>（自己評価）</p>

